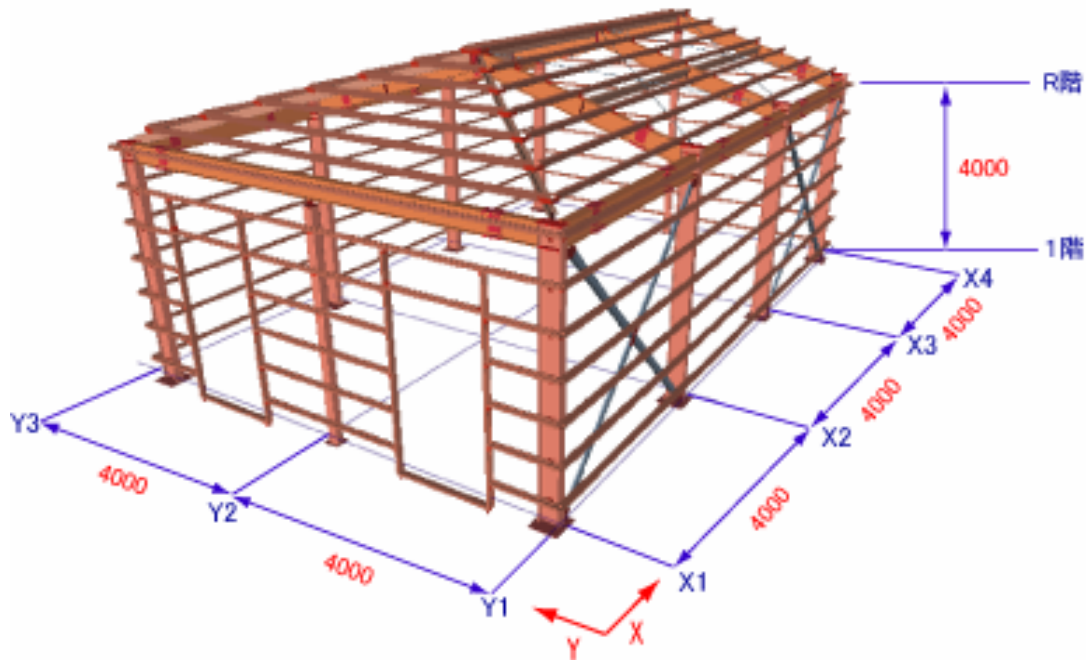


~ 鉄骨専用 CAD システム 応用編 (小屋物件) ~

入門編で、ご紹介した機能の他に、もう少し高度な機能や詳細についてご紹介します。
 今度は、以下のような寄棟屋根の物件を入力してみましょう。



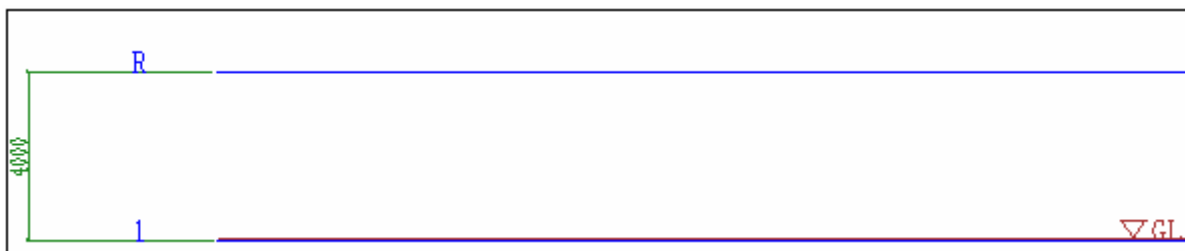
【手順1】入力を開始します。

工事コード及び工事名称を入力します。

【手順2】階を入力します。

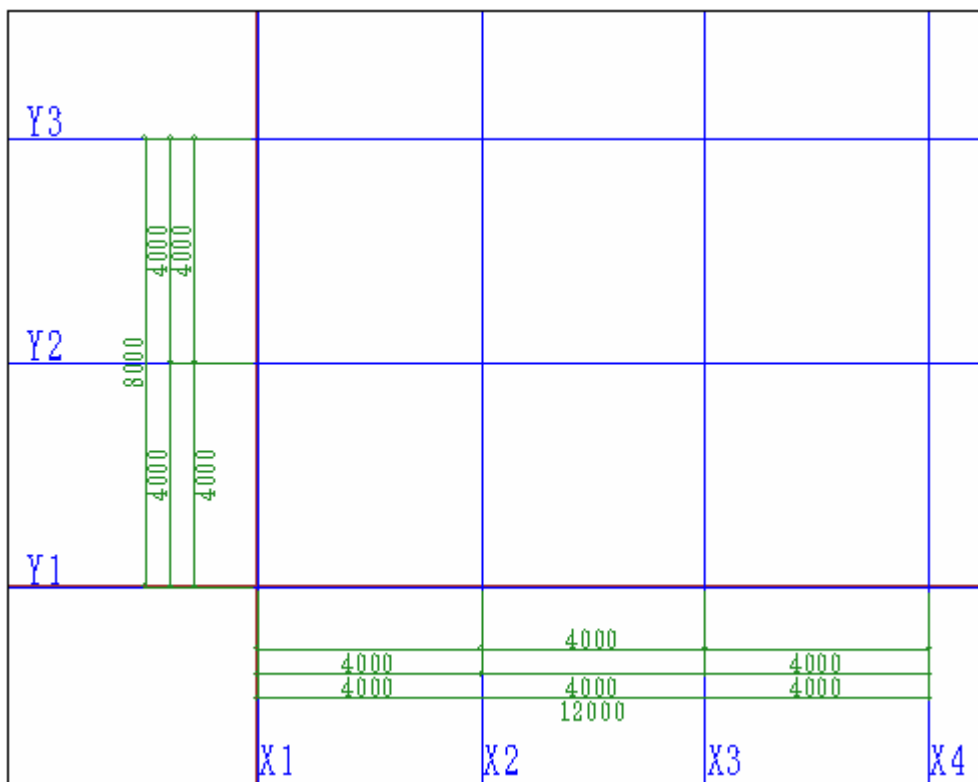
建物の階高の設定を行います。

階は入門編と同じように、1階階高を 0、R階階高を 4000 で入力します。(下図参照)



【手順3】 通り入力を行います。

通りの入力は、スパンが4000でX通りがX1からX4通りまで、Y通りがY1からY3通りまで入力します。

**【手順4】** 通りに属性を入力します。

通り入力は、そのままでは作成された通り上に柱芯が合うように自動設定されています。

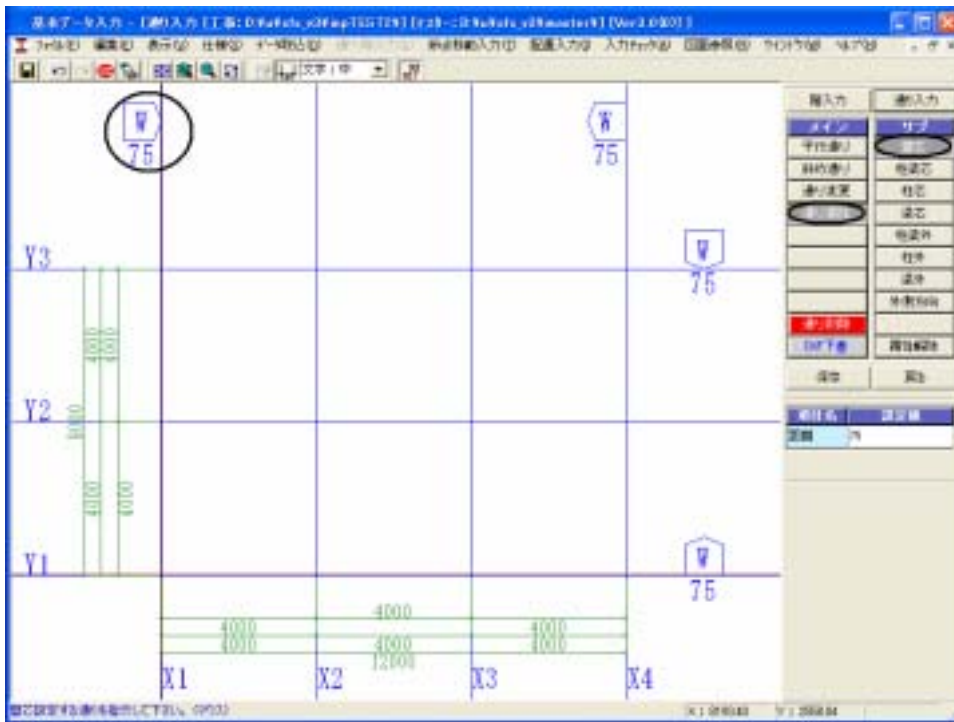
そのため、通りと壁芯が合わない場合は、**通り属性** という機能を使って壁芯の設定を行います。

ここでは、外側の通りが柱・梁の外側から75になるよう設定します。

通り属性 **壁芯** を選択します。(デフォルトは **柱芯** になっています。)

| | | |
|---|--|--|
| 1 | 壁芯設定する通りを指示して下さい。(マウス) | X1 通りをマウス指示 |
| 2 | 設定値に移動距離を入力して下さい。(キー) /対象通りの内側点を指示して下さい。(マウス) | 75 <input type="button" value="Enter"/> |
| 3 | 設定値に移動距離を入力して下さい。(キー) /対象通りの内側点を指示して下さい。(マウス) | X1 通りと X2 通りの間をマウス指示 |
| 4 | 壁芯設定する通りを指示して下さい。(マウス) | X4 通りをマウス指示 |
| 5 | 設定値に移動距離を入力して下さい。(キー) /対象通りの内側点を指示して下さい。(マウス) | X3 通りと X4 通りの間をマウス指示 |
| 6 | 壁芯設定する通りを指示して下さい。(マウス) | Y1 通りをマウス指示 |
| 7 | 設定値に移動距離を入力して下さい。(キー) /対象通りの内側点を指示して下さい。(マウス) | Y1 通りと Y2 通りの間をマウス指示 |
| 8 | 壁芯設定する通りを指示して下さい。(マウス) | Y3 通りをマウス指示 |
| 9 | 設定値に移動距離を入力して下さい。(キー) /対象通りの内側点を指示して下さい。(マウス) | Y2 通りと Y3 通りの間をマウス指示 |

内側点を指示すると、以下のように通り上に $\text{W} \triangleright 75$ と表示します。
この操作で通りから内側に 75 の位置に柱・梁の外面が合います。



上記のように階・通りが作成できたら、**保存** を選択して下さい。

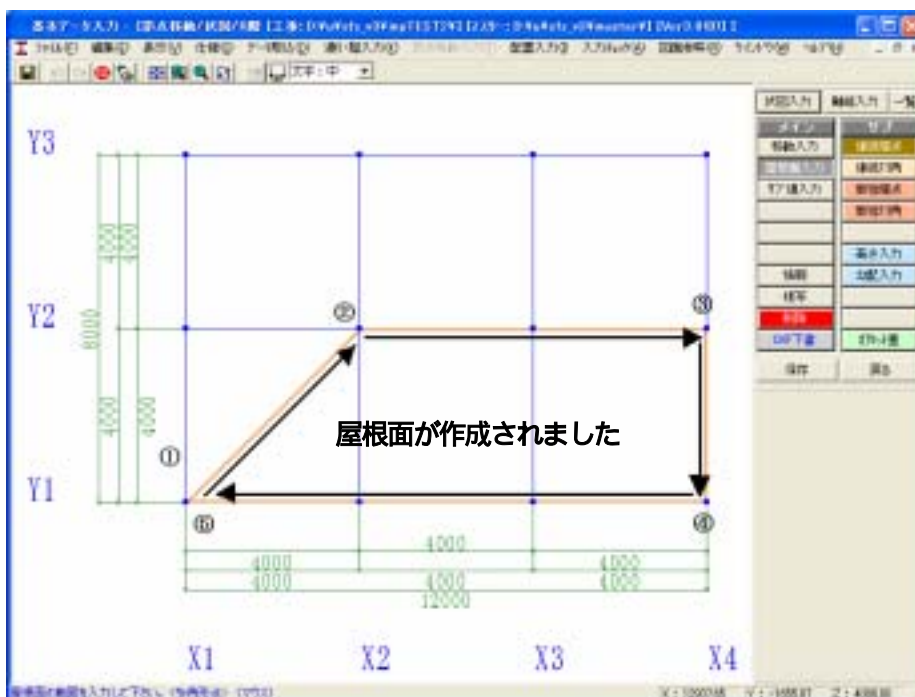
【手順5】屋根面を入力します。

入門編では切妻屋根でしたが、今回は寄棟屋根の入力をします。

節点移動入力 **伏図入力** **R階** を選択して下さい。

屋根面入力 **連続端点** を選択して下さい。(デフォルトで **連続対角** が選択状態です。)

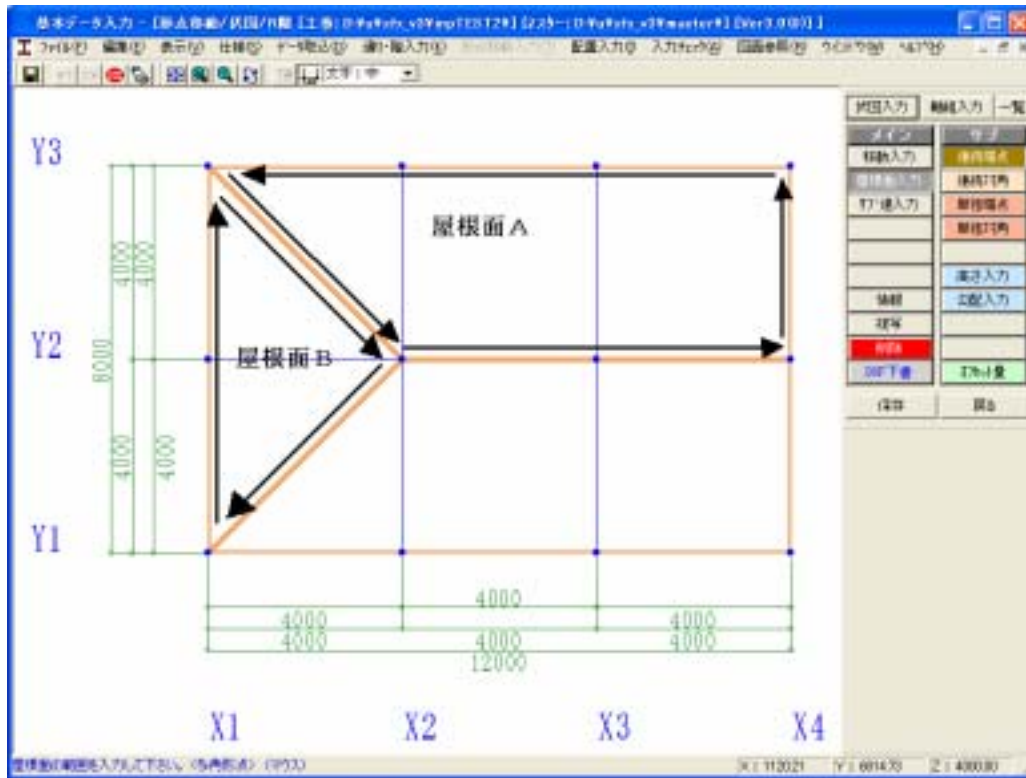
交点 (X1-Y1・X2-Y2・X4-Y2・X4-Y1・X1-Y1) を指示して下さい。



同様に交点 (X1-Y3・X2-Y2・X4-Y2・X4-Y3・X1-Y3) と (X1-Y1・X1-Y3・X2-Y2・X1-Y1) を指示します。

<屋根面 A>

<屋根面 B>



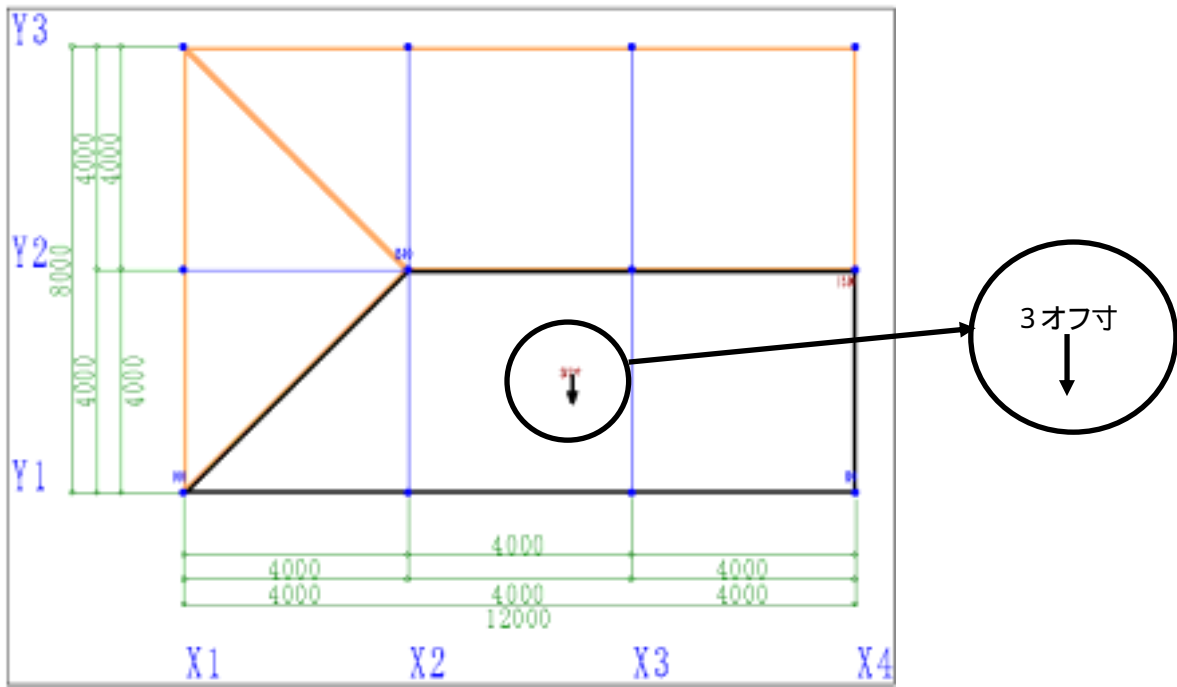
【手順 6】 屋根面勾配を入力します。

入門編では **勾配入力** で入力しましたが、今回は **高さ入力** で入力してみます。

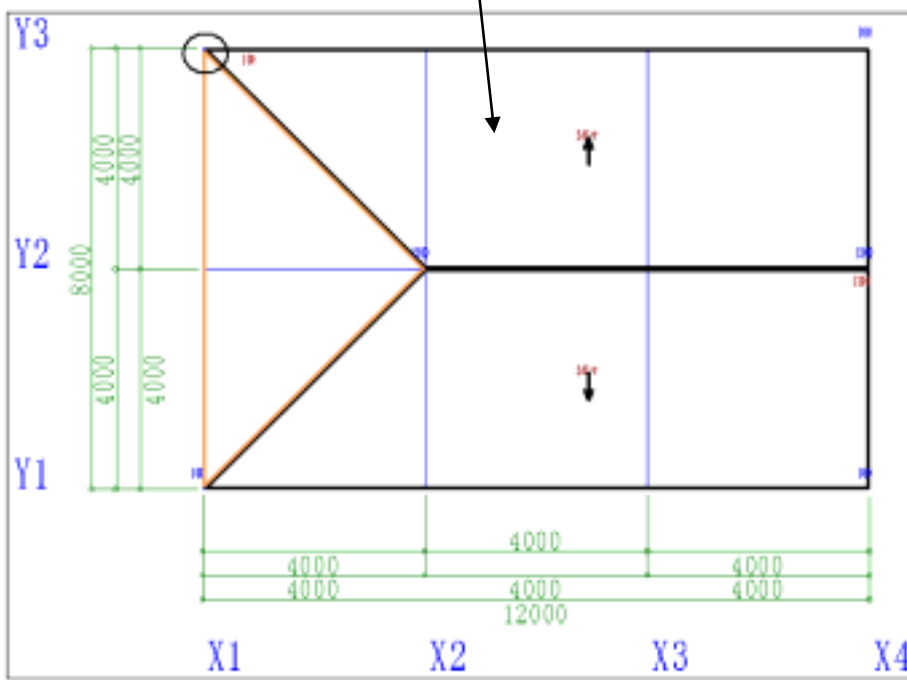
屋根面入力 **高さ入力** を選択します。

Z 値では屋根面の 3 点の高さを入力すれば、勾配を設定することができます。

| | | |
|---|-----------------------------|---------------------------------------|
| 1 | 高さ指定する屋根面を指示して下さい。(マウス) | X1-Y1・X2-Y2・X4-Y2・X4-Y1・X1-Y1 の屋根面を指示 |
| 2 | 1 点目の高さ指定する節点を指示して下さい。(マウス) | 交点 X1-Y1 をマウス指示 |
| 3 | Z 移動量を入力して下さい。(キー) | 100 Enter |
| 4 | 2 点目の高さ指定する節点を指示して下さい。(マウス) | 交点 X4-Y1 をマウス指示 |
| 5 | Z 移動量を入力して下さい。(キー) | デフォルト表示があるので Enter のみ |
| 6 | 3 点目の高さ指定する節点を指示して下さい。(マウス) | 交点 X2-Y2 をマウス指示 |
| 7 | Z 移動量を入力して下さい。(キー) | 1300 Enter |
| 8 | 3 . 0 寸勾配の屋根面ができます。 | |

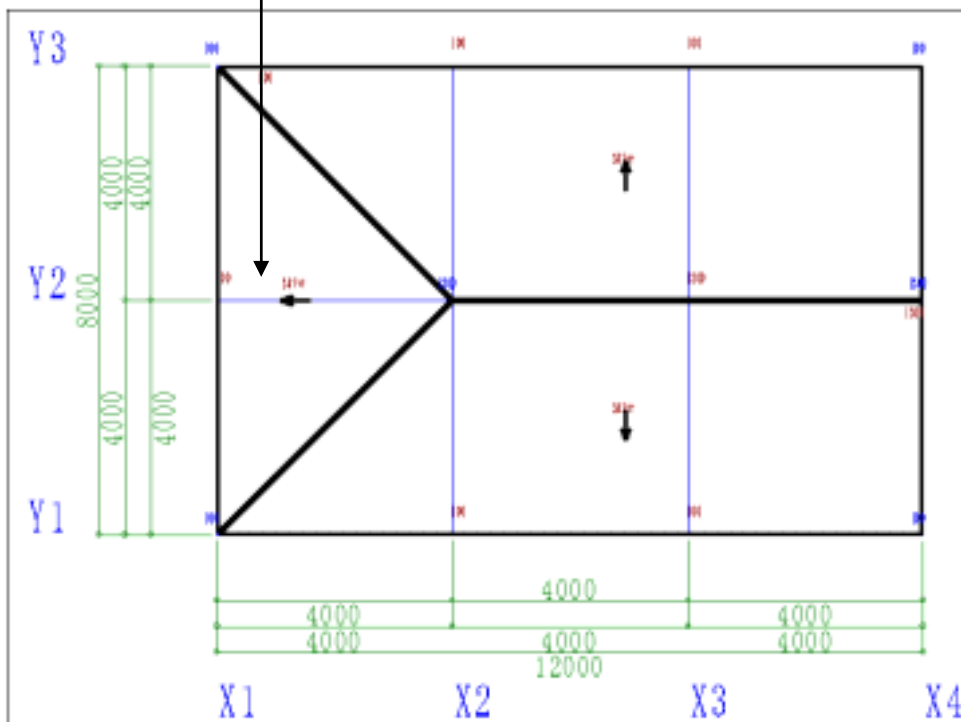


続いて (X1-Y3・X2-Y2・X4-Y2・X4-Y3・X1-Y3) の屋根面を設定します。
 先の入力で既に X2-Y2・X4-Y2 の高さが決まっているので、あと 1 点高さを指定すれば勾配が決まります。
 (X1-Y3・X2-Y2・X4-Y2・X4-Y3・X1-Y3) の屋根面を指示し、X1-Y3 の Z 移動量を 100 で入力します。



最後に (X1-Y3・X2-Y2・X1-Y1・X1-Y3) の屋根面を設定します。
既に交点 X1-Y3・X2-Y2・X1-Y1 の高さが決まっているので、屋根面を指示するだけで勾配が決まります。

(X1-Y3・X2-Y2・X1-Y1・X1-Y3) の屋根面を指示して下さい。



上記のように全て 3 . 0 オフ寸勾配の屋根が作成できたら、 を選択して下さい。

【手順7】 リスト入力を行います。

1. 柱リスト

本柱・間柱を入力します。以下のように入力して下さい。(名称：本柱...C 1、間柱...P 1)

【入力項目】
 柱名称 : C 1
 柱タイプ : 1
 柱鋼材コード : 1
 鋼材サイズ : 300x150x6.5x9
 柱脚名称 : C 1

【入力項目】
 柱名称 : P 1
 柱タイプ : 2
 柱鋼材コード : 5
 鋼材サイズ : 150x150x4.5
 間柱継手タイプ
 柱頭タイプ : 1 (ガセット)
 継手名称 : P 1 J
 柱脚タイプ : 2 (ベース)
 柱脚名称 : P 1 K

| | |
|------|---|
| 柱タイプ | 本柱/間柱の区別を入力します。ここでの間柱とは、柱脚がベースまたは梁とピン接合、また柱頭は梁とピン接合する柱で必ず梁が優先し、接合部分には仕口ができない柱を指します。(この条件の柱は、仮に図面上で本柱の表現であっても、間柱で入力して下さい。) これ以外は本柱を指定します。 |
| 柱脚 | 柱脚にベースがとりつく場合、柱脚リストの名称を入力します。 ベースの詳細データは柱脚リストで入力します。(最下階の判定はシステムが自動判定しますので、柱脚があるか、ないかで柱リストを分ける必要はありません。) |
| 継手 | 柱タイプが本柱で現場継手のある場合、継手リストの名称を入力します。 基本データ入力 共通仕様 共通仕様 全般 入力条件 継手マスターが、「0:別名称取込」に設定時は、柱主材が入力された時点で継手名称が自動で取込まれますが、継手が作成されるとは限りません。柱継手の詳細データは継手リストで入力します。 本柱の場合、H柱はスプライス継手、コラム・鋼管柱はエレクション継手ができます。 |

リストを追加、変更時には必ず **保存** を選択して内容を保存して下さい。

2. 柱脚リスト

本柱・間柱の柱脚を入力します。以下のように登録して下さい。(名称:本柱用...C 1、間柱用...P 1 K)

柱脚名称: C1

【入力項目】

柱脚名称 : C 1

タイプ : 1

ベース PL 厚 : 16

ベース PL X 幅 : 450

ベース PL Y 幅 : 450

ボルト本数 : 4

ボルト径 : 20

ボルト長さ : 800

位置 : 2

基本位置 X へリサ : 50

基本位置 Y へリサ : 50

柱脚名称: P1K

【入力項目】

柱脚名称 : P 1 K

タイプ : 1

ベース PL 厚 : 9

ベース PL X 幅 : 250

ベース PL Y 幅 : 250

ボルト本数 : 4

ボルト径 : 20

ボルト長さ : 800

位置 : 1

基本位置 X へリサ : 50

基本位置 Y へリサ : 50

コラム欠込 幅 : 75

コラム欠込 高 : 200

| | |
|------|--|
| 柱脚名称 | 柱脚リスト名を入力します。(柱リストの柱脚名称で使用する柱脚名称です) 柱脚名称を入力すると、以前に登録済みか新規かを判定し、もし登録済みであれば、以前登録した柱脚データを表示します。 新規リストでも、1つ前のリストが表示されますので、右上表示エリアの新規更新の表示を確かめて下さい。 |
| タイプ | タイプを入力します。 タイプを選択することで、ベース詳細データの入力欄が変わります。 1) ベース PL (ボルトピッチ指定) 2) ベース PL (ボルトフリー指定) 3) 既製品 スタッドジベルなどは【共通】で入力します。 |

リストを追加、変更時には必ず **保存** を選択して内容を保存して下さい。

3. 継手リスト

間柱の継手（柱頭ガセット）を入力します。以下のように登録して下さい。継手名称：P1J



【入力項目】

継手名称 : P1J

継手タイプ : 9

ガセット厚 : 6

ボルト本 : 2

ボルト径 : 20

CT形鋼 : 100x150x6.5x9

| | |
|------|---|
| 継手名称 | <p>継手リスト名を入力します。（柱リストの継手名称で使用する継手名称です）</p> <p>継手名称を入力すると、以前に登録済みか新規かを判定し、登録済みであれば、以前登録した継手データを表示します。</p> <p>新規リストでも、1つ前のリストが表示されますので、右上表示エリアの新規更新の表示を確かめて下さい。</p> |
| 継手種類 | <p>継手のタイプを入力します。</p> <p>1：フランジ、ウェブ共にスプライス形式継手</p> <p>2：フランジ溶接、ウェブガセット形式継手（現場溶接タイプ）</p> <p>3：ガセット1面せん断継手 コラム、鋼管はPL-T形式</p> <p>4：ガセット1面せん断継手（フランジ片刃落とし） コラム、鋼管はPL-T形式</p> <p>5：ガセット2面せん断継手</p> <p>6：エレクション形式継手</p> <p>7：通しボルト</p> <p>8：通しボルト（片刃落とし）</p> <p>9：CTガセット 主材がコラム、鋼管の時のみ可能</p> <p>10：CTガセット（片刃落とし）</p> |
| CT型鋼 | <p>継手タイプが、「9」、「10」の時にCT形鋼の鋼材を入力します。</p> |

リストを追加、変更時には必ず **保存** を選択して内容を保存して下さい。

4. 梁リスト

入門編と同様に G1・B1 を入力して下さい。

The image shows two screenshots of a software interface for inputting beam data. The top screenshot shows the '梁名称' (Beam Name) set to 'G1' and '継手名称' (Joint Name) set to 'GJ300'. The bottom screenshot shows the '梁名称' set to 'B1' and '継手名称' set to 'BJ150'. Both screenshots show various input fields for material codes and sizes.

【入力項目】

梁名称 : G1
 梁タイプ : 1
 鋼材コード : 1
 鋼材サイズ : 300x150x6.5x9
 継手名称 : GJ300

【入力項目】

梁名称 : B1
 梁タイプ : 3
 鋼材コード : 1
 鋼材サイズ : 150x75x5x7
 継手名称 : BJ150

| | |
|--------|---|
| 梁タイプ | 梁のタイプを入力します。 |
| ハンチタイプ | ハンチタイプを入力します。 |
| 中央継手数 | 中央材の継手の数を入力します。最大2ヶ所までです。 また、中央継手は梁タイプ1、2、3、5のみ可能とします。合掌は1、2、3、5タイプのみ可能です。 |
| 継手名称 | 現場継手のリスト名称を入力します。 (実際の継手の仕様は継手リストで入力します。) 継手リストの名称と【継手名称】は同じ名称にします。 (継手マスター取込みについて...基本データ入力 共通仕様 共通仕様 全般 入力条件 継手マスターが、「0:別名称取込」に設定時の場合、鋼材サイズにより継手をマスターより取込みます。) |

リストを追加、変更時には必ず **保存** を選択して内容を保存して下さい。

5. プレースリスト

壁ブレース・床ブレースを入力します。

以下のように登録して下さい。(名称：壁ブレース...VK、床ブレース...VY)

< 壁ブレース VK >



- 【入力項目】
- ブレース名称 : VK
 - ブレースタイプ : 1
 - 鋼材コード : 8
 - 鋼材サイズ : 100x100x7
 - ガセット厚 : 9
 - ボルト本数 : 3
 - ボルト径 : 20

| | |
|------------|--|
| ブレース 主材 | 鋼材コードを入力します。 使用可能鋼材：角型、鋼管、溝型、L、2L、平鋼、丸鋼M、丸鋼W、フルブレース、 溝型背中合わせ |
| サイズ | 使用鋼材のサイズを入力します。 |
| ガセット | ブレースシートを使用する場合は入力しません。 |
| ボルト | <p>【種別】 ボルトの種別を入力します。(0：HTB / 1：中ボルト)</p> <p>【本数】 ボルトの本数を入力します。必須入力です。</p> <p>【径】 ボルトの径を入力します。必須入力です。</p> <p>【規格】 ボルトの規格を入力します。</p> <p>【ボルトタイプ】 ボルトタイプを入力します。 0・1：1列 / 2：2列 / 20：千鳥パターンは配置入力に変換します</p> <p>【p】 ボルトのピッチを入力します。</p> <p>【e】 ボルトのハシアキを入力します。 ピッチ、ハシアキが未入力の場合...ボルト径により共通仕様 / 鋼材規格とゲージのピッチ、ハシアキの値を使用します。</p> |
| 継手名称 | 継手基準図で表示する為のブレース端部の継手名称を入力します。未入力の場合は“ブ レース名称”+“J1”として登録します。 入力ブレース材が丸鋼、フルブレースの時、必要になる入力です。 鋼材サイズが入力されるとデフォルト値がマスターより取込まれ、表示されます。 |

< 床ブレース VY >



【入力項目】
 ブレース名称 : VY
 ブレースタイプ : 2
 鋼材コード : 27
 鋼材サイズ : 16x1
 ガセット厚 : 12

リストを追加、変更時には必ず **保存** を選択して内容を保存して下さい。

6. 母屋 / 胴縁リスト

母屋および、胴縁リストを入力します。

両方とも以下のように同じ鋼材で区分を変えて登録して下さい。(名称: 母屋...M1、胴縁...D1)



| | |
|---------|---|
| 母屋・胴縁名称 | 名称を入力します。 |
| 区分 | 胴縁に使用する時は区分 1 を、母屋に使用する時は区分 2 を入力します。 配置入力の、胴縁入力はこちらで区分 1 に登録した鋼材しか配置できません。母屋入力も同様で、ここで区分 2 に登録した鋼材しか配置できません。 |
| 主材 / 鋼材 | 主材の形鋼種別、サイズ、規格を入力します。現在使用できる形鋼は以下のものです。 角型鋼管 (コラム) の等辺、 軽量リップ溝型鋼 1 枚使い、 軽量リップ溝型鋼 2 枚使い背中合わせ、 軽量リップ溝型鋼 2 枚使い抱き合わせ |
| サイズ | 使用鋼材のサイズを入力します。 |

リストを追加、変更時には必ず **保存** を選択して内容を保存して下さい。

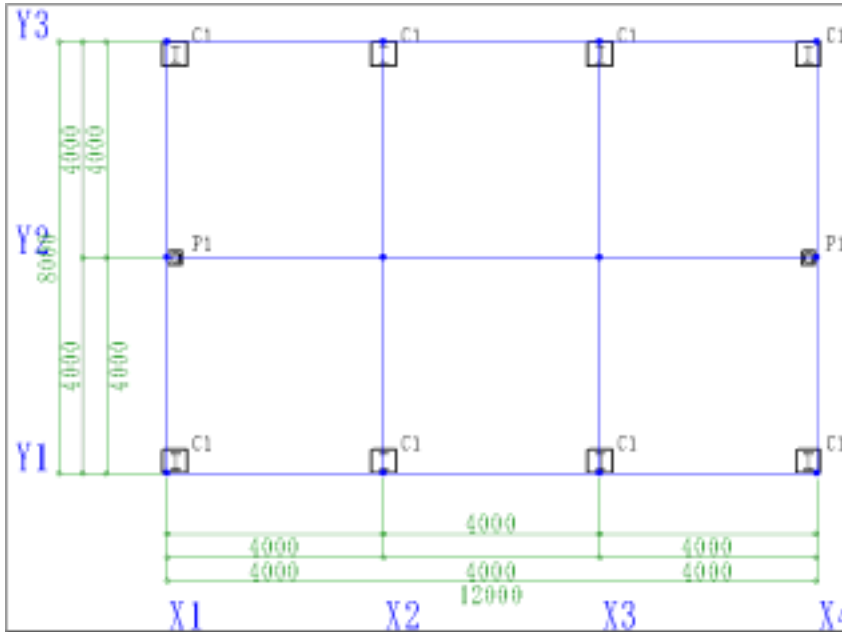
【手順7】 部材を配置します。

通り入力 で作成した通り上に部材を配置します。配置入力を選択します。

1. 1階に柱を配置入力します。

伏図入力で入力します。 で1階を選択して下さい。

で下のように配置します。



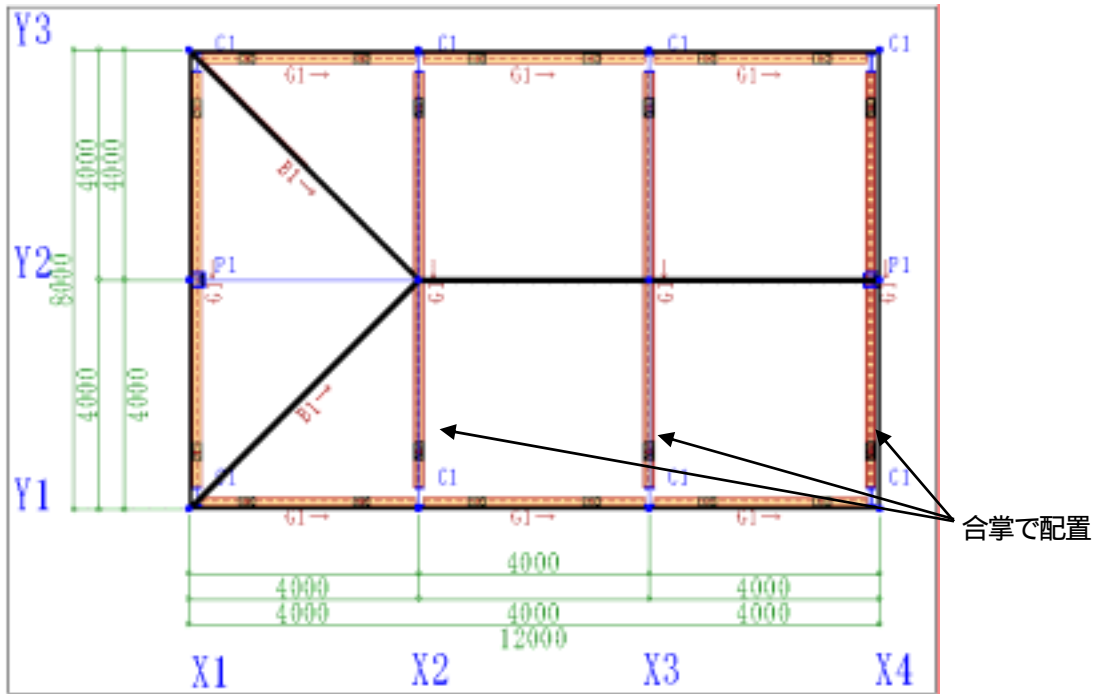
アンカープランはこれで完了です。入力後は を選択して保存します。

2. R 階の梁を配置入力します。

次頁の図を参考に梁を配置して下さい。 で R 階を選択して下さい。

X2-Y3 X2-Y1、 X3-Y3 X3-Y1、 X4-Y3 X4-Y1 の梁は、

の 3 点指定で配置します。

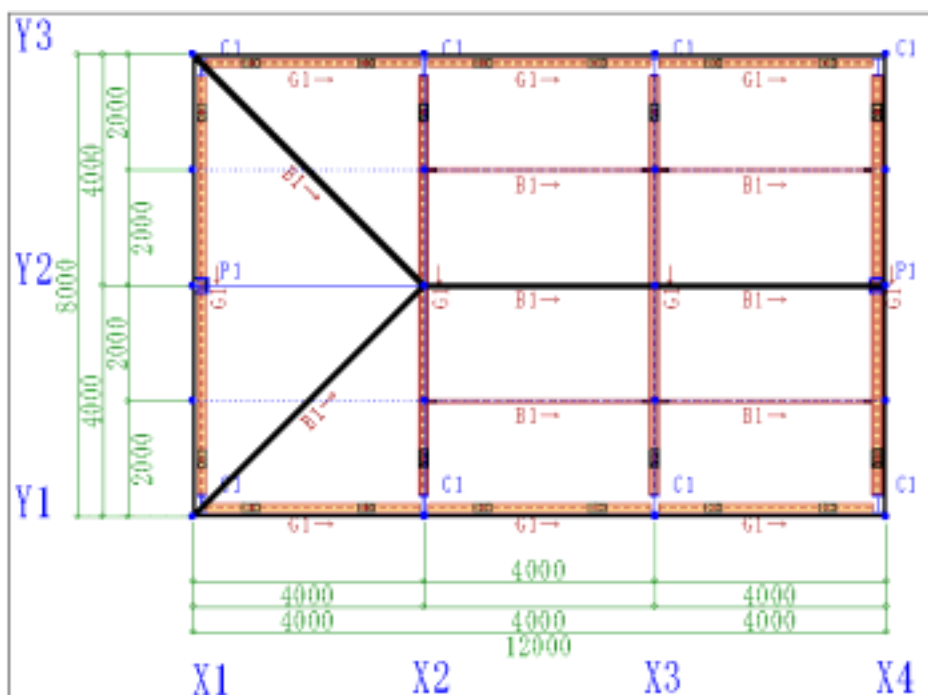


次に【B1】の小梁は、階ごとに設定できる通りを作成してから配置します。

を選択します。

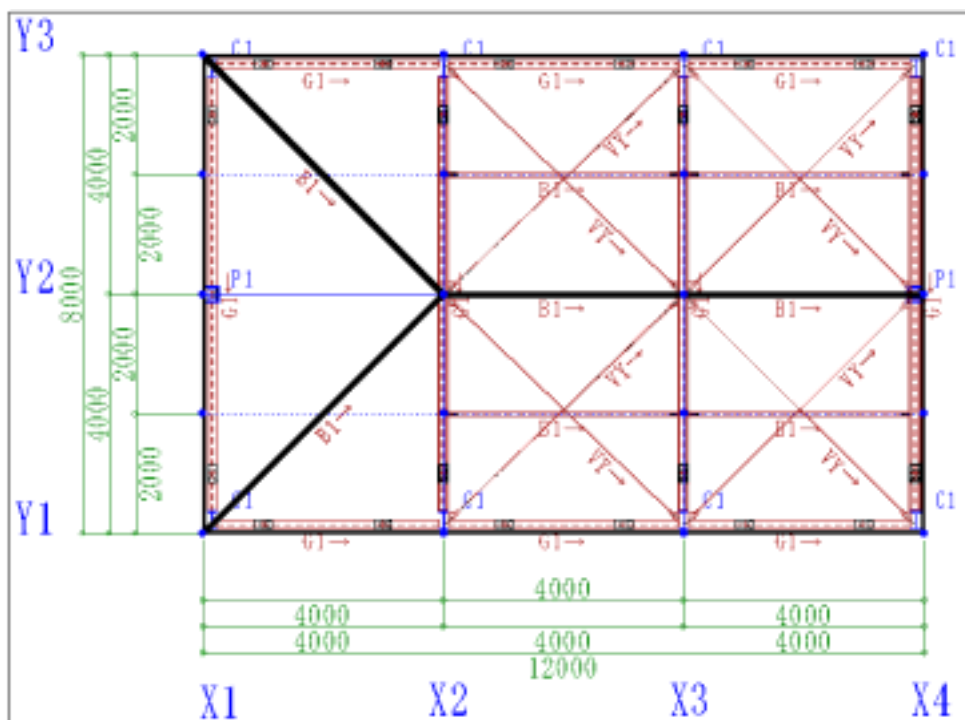
| | | |
|---|---------------------------|--|
| 1 | 基準となる平行通り、又は通過交点を指示して下さい。 | Y2 通りをマウス指示 |
| 2 | 距離を入力して下さい。(キー) | <input type="text" value="2000"/> <input type="text" value="Enter"/> |

同じように Y1 と Y2 の間にも平行通りを作成してから【B1】を配置します。



3. 床ブレースを配置入力します。

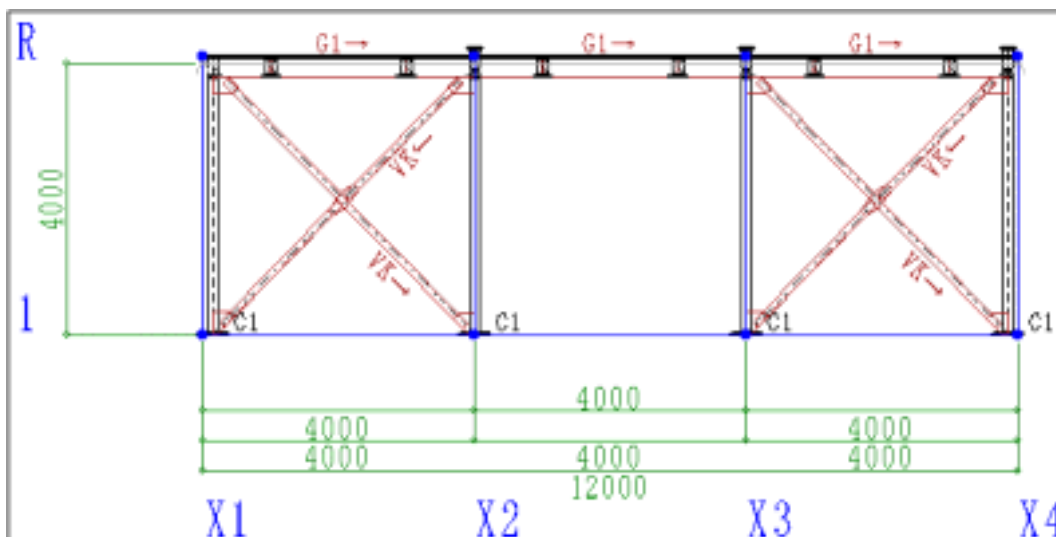
で配置するブレース (VY) を選択して配置します。



4. 壁ブレースを配置入力します。

軸組入力で入力します。 で、Y1 通りを表示して下さい。

で配置するブレース (VK) を選択して配置します。



入力後は を選択してデータを保存します。

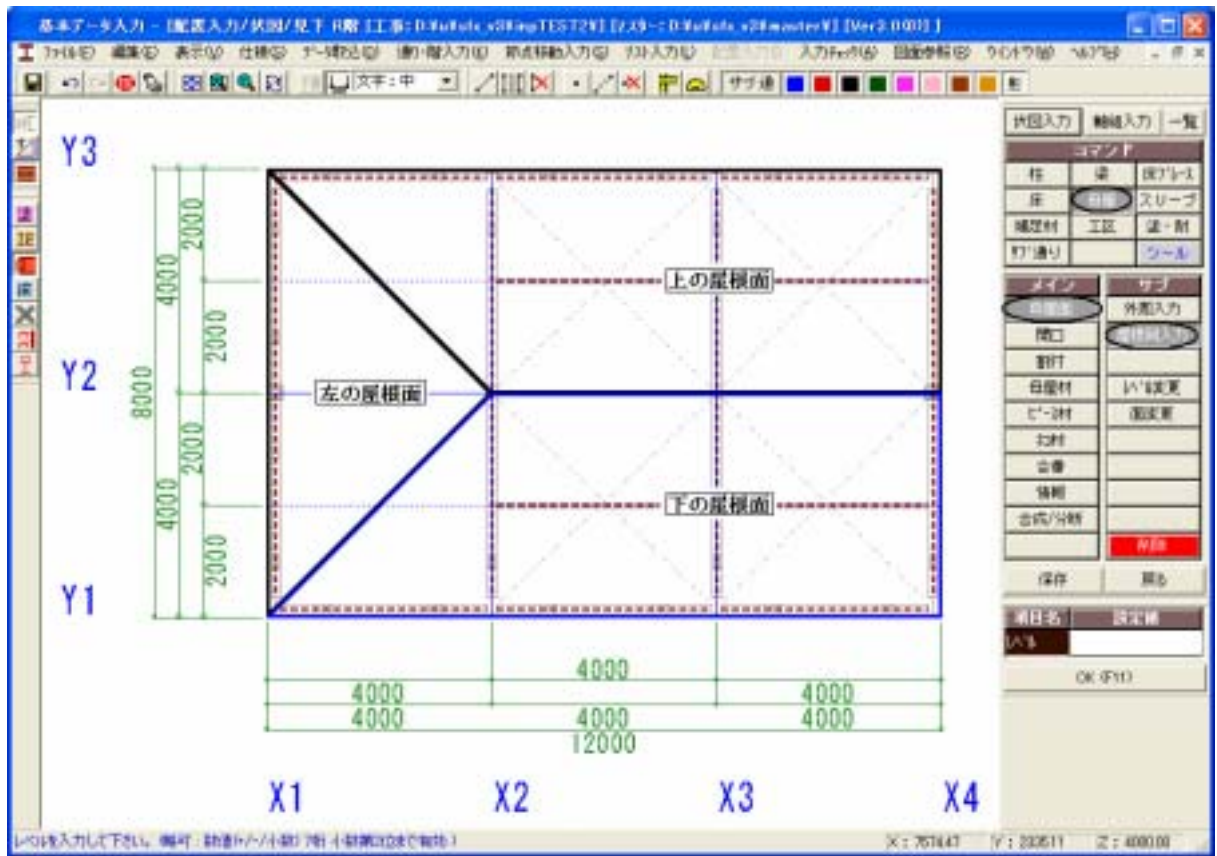
同じようにY3通りも入力します。

5. 母屋を配置入力します。

伏図入力で入力します。 で R 階を選択して下さい。

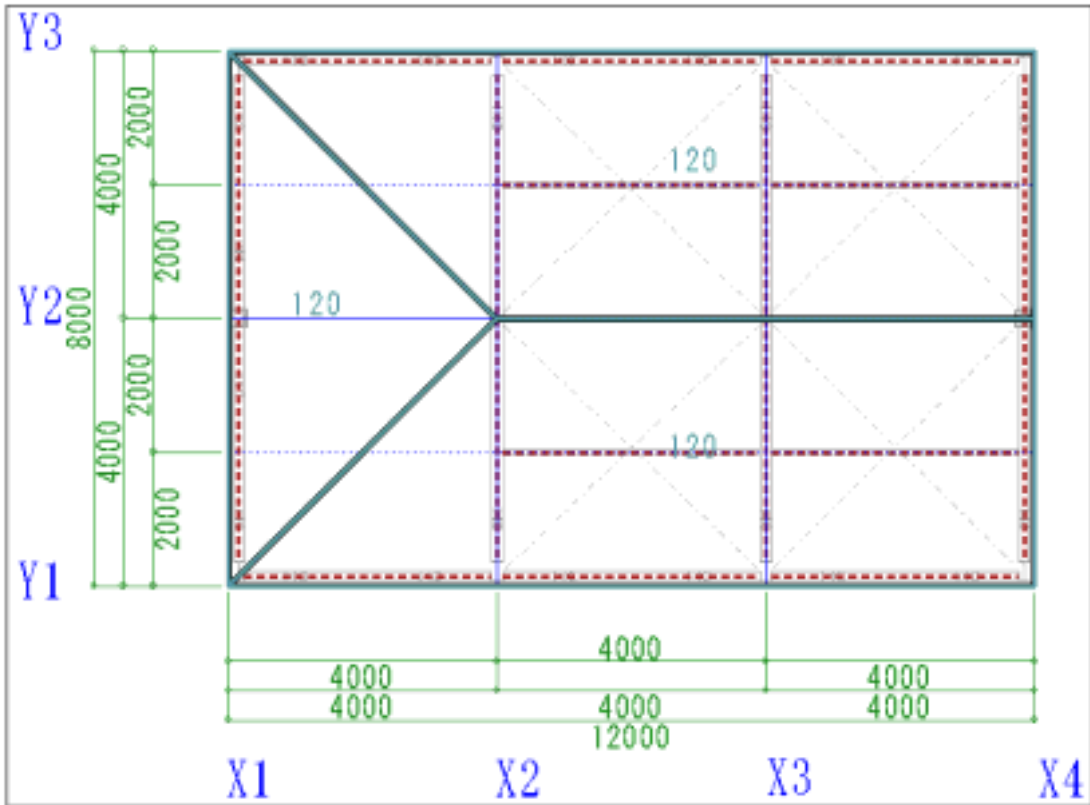
. を選択して下さい。

まず、下の屋根面を指示してみましょう。マウス指示すると青色に色が反転します。



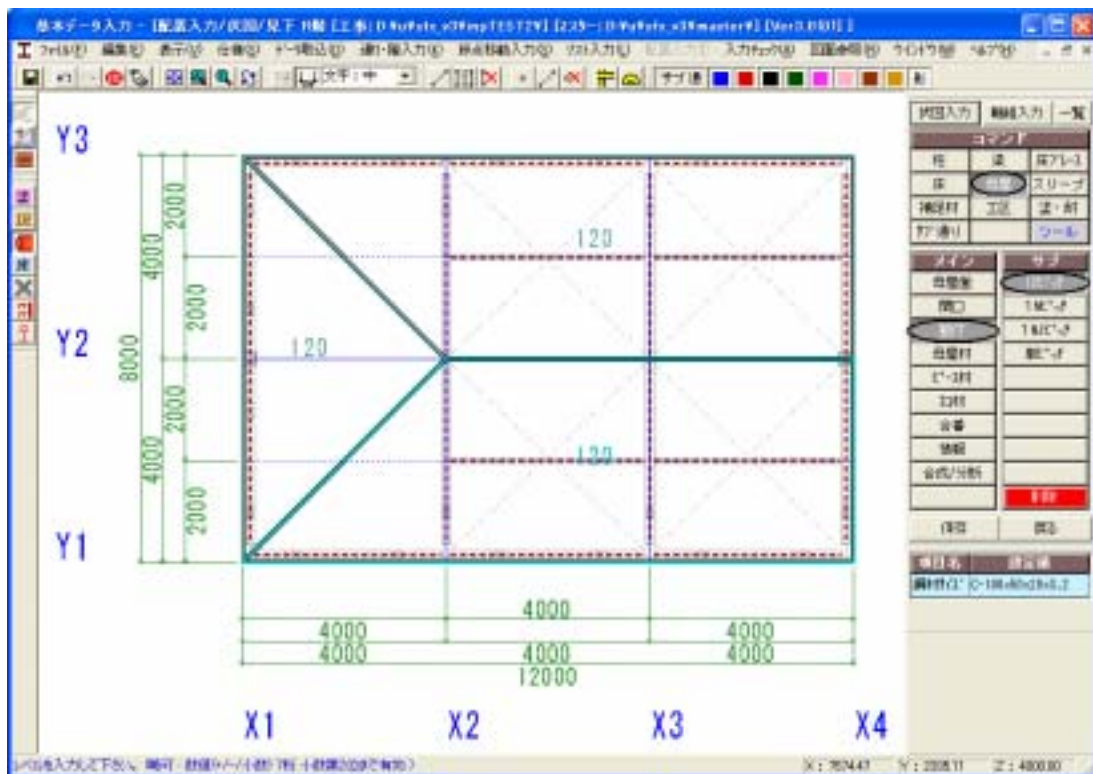
| | | |
|---|--|--|
| 1 | 母屋外周が屋根面と同一となる面内を指示して下さい。(マウス) | 下の屋根面を指示して下さい。 |
| 2 | レベルを入力して下さい。 (略可: 数値 (+/ /小数) 7桁 小数第2位まで有効) | この物件ではレベル量を「120」とします。 120 <input type="button" value="Enter"/> |
| 3 | 母屋外周が屋根面と同一となる面内を指示して下さい。(マウス) | 左の屋根面をマウスで指示して下さい。 |
| 4 | レベルを入力して下さい。 | 「120」という値が残っているので そのまま <input type="button" value="Enter"/> |
| 5 | 母屋外周が屋根面と同一となる面内を指示して下さい。(マウス) | 上の屋根面を指示して下さい。 |
| 6 | レベルを入力して下さい。 | <input type="button" value="Enter"/> |

注: レベル量の意味はオンラインヘルプ (F1) キーで確認して下さい。



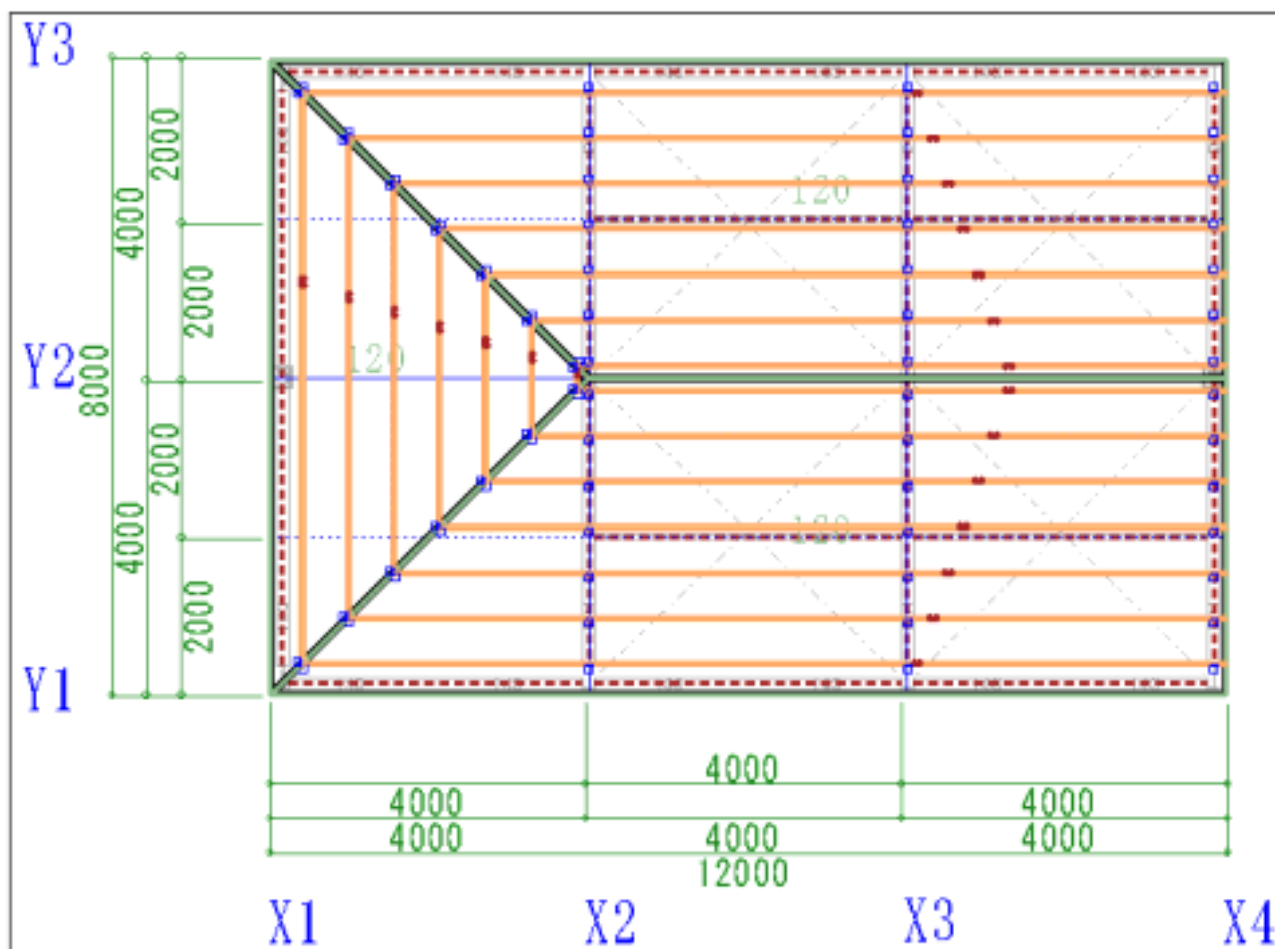
上図のようになっていることを確認して下さい。

・ 割付 12 ピッチ 母屋 M1 を選択して下さい。



| | | |
|---|---|---|
| 1 | 割り付ける母屋面を指示して下さい。(マウス) | 下(左、上)の屋根面を指示して下さい。 |
| 2 | 割付基準線を指示して下さい。(マウス) | Y1 通り (Y3 通り、X1 通り) を指示して下さい。 |
| 3 | 割付方向を指示して下さい。(マウス) | 屋根中央に向かって割り付けますので、基準線より Y2 (Y2、X2) 寄りの面の内部をマウス指定します。 |
| 4 | 第 1 ピッチ入力 又は刃の方向変更して下さい。 (断面マウス指示)(略可: 数値 (+ / 小数) 7 桁 小数第 2 位まで有効) | この物件では第 1 ピッチを「400」とします。 400 <input type="text" value="Enter"/> 2 回目以降は <input type="text" value="Enter"/> のみ |
| 5 | 第 2 ピッチを入力して下さい。 (略可: 数値 (+ / 小数) 7 桁 小数第 2 位まで有効 0.1 ~) | この物件では第 2 ピッチを「600」とします。 600 <input type="text" value="Enter"/> 2 回目以降は <input type="text" value="Enter"/> のみ |

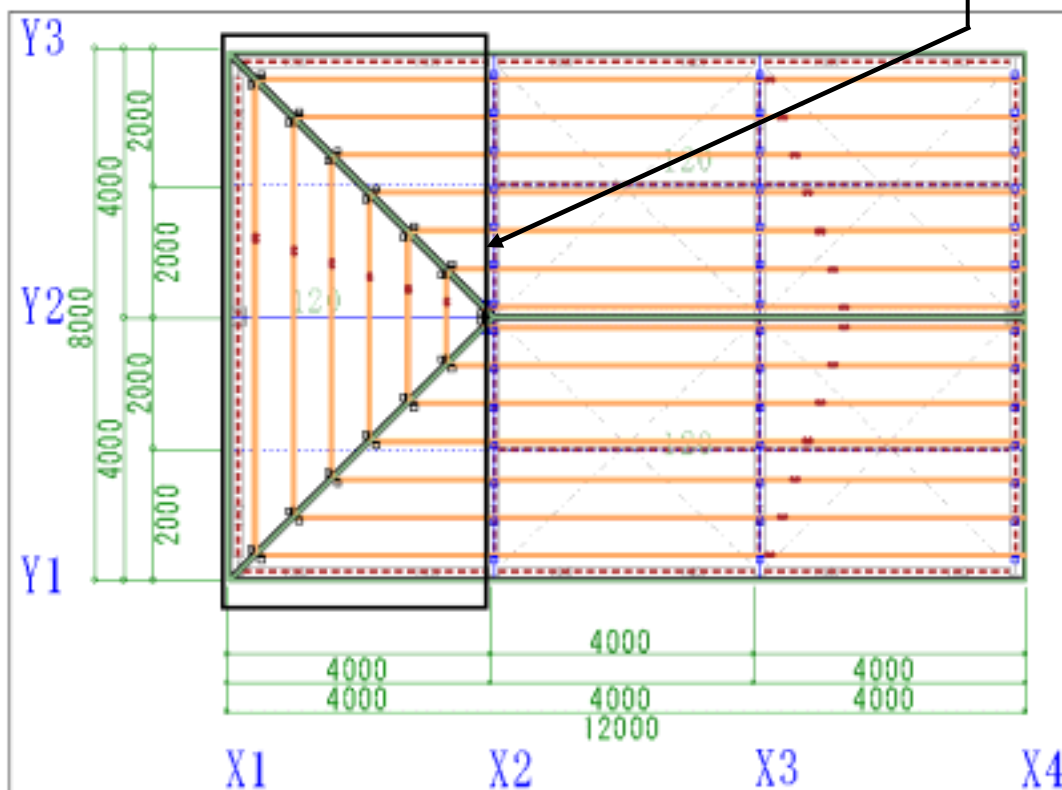
この入力を、屋根面分繰り返して下図のように割り付けて下さい。



作成しているネコが、隅木、谷木、棟木部分のネコである場合、寄棟ネコ属性を付加します。

ネコ材 寄棟ネコ を選択して下さい。

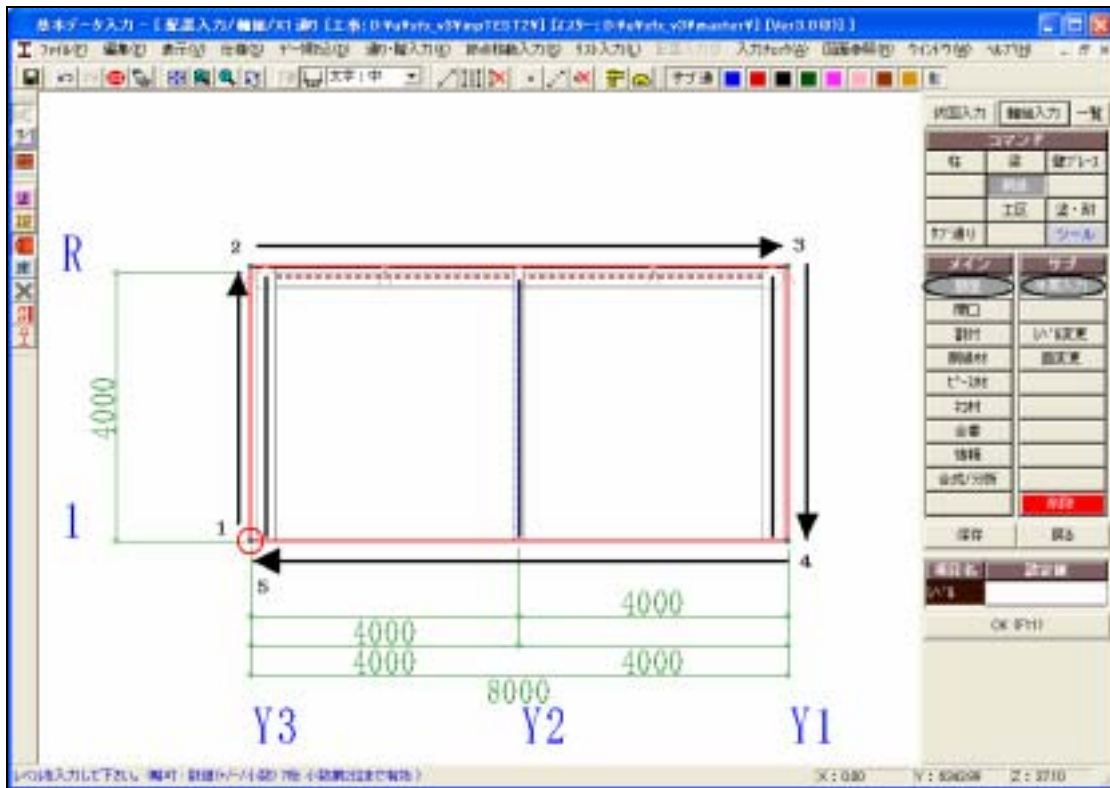
| | | |
|---|---|---|
| 1 | 変更するネコを指示して下さい。(マウス) マウス右クリックで連続設定 <範囲可(マウス中/確定) 選択材再指示で除外> 指示すると重なったネコ部分が黒く反転します。 (指示したネコはクリックする毎に、 寄棟ネコ(黒) 通常ネコ(青)または継ネコ(紫)に属性が変わります。) | 重なったネコ部分 X1-Y3 ・ X2-Y1 を 指示して下さい。 |
|---|---|---|



入力後は 保存 を選択してデータを保存します。

6. 胴縁を配置入力します。

- ・ を選択して下さい。
- ・ を選択して下さい。

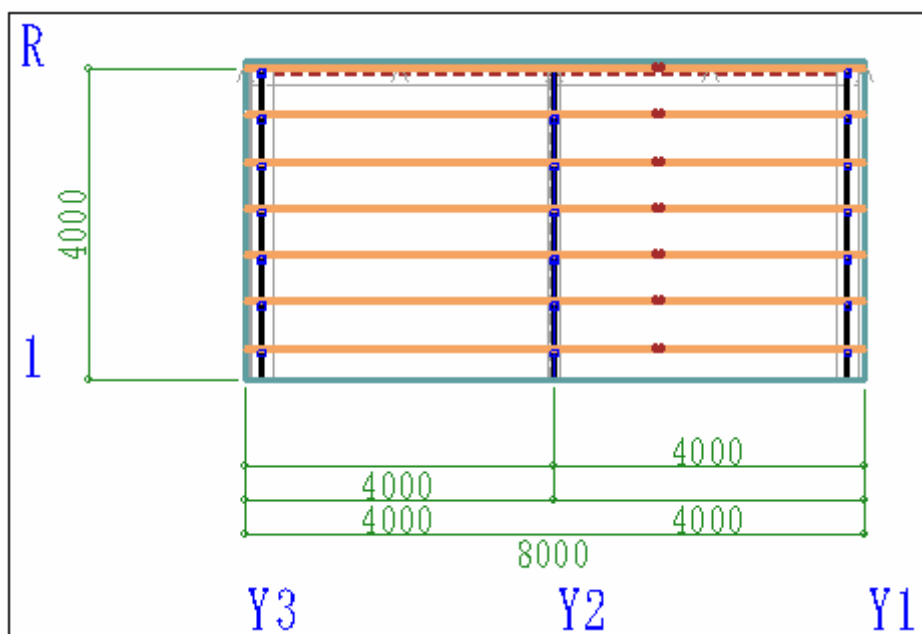


| | |
|---|---|
| 1 | <p>胴縁を割付ける壁面ループを入力して下さい(マウス)</p> <p>Y3-1・Y3-R・Y1-R・Y1-1・Y3-1 の順に指示して下さい。 (X4 通りの壁面ループを入力するときには、 屋根部分も含めて指示して下さい。)</p> |
| 2 | <p>レベル量を入力して下さい。画面奥がマイナス(キー)</p> <p><input type="text" value="0"/> <input type="text" value="Enter"/></p> |

注．レベル量の意味をオンラインヘルプ(F1)キーで確認して下さい。

・ 胴縁 D1 を選択して下さい。

| | | |
|---|---|---|
| 1 | 割付けの壁面を指示して下さい。(マウス) | 外周で指示した壁面の内側を指示して下さい。 |
| 2 | 割付基準線を指示して下さい。(マウス) | 1階ラインを指示して下さい。 |
| 3 | 割付方向を指示して下さい。(マウス) | 上部に向かって割付けるので、 基準線より上の面部分を指示して下さい。 |
| 4 | 第1ピッチ入力又は刃の方向変更して下さい。 (断面マウス指示)(略可:数値(+/-)小数) 7桁 小数第2位まで有効) | この物件では第1ピッチを「400」とします。 400 <input type="button" value="Enter"/> |
| 5 | 第2ピッチを入力して下さい。 (略可:数値(+/-)小数)7桁 小数第2位まで有効(0.1~) | この物件では第2ピッチを「600」とします。 600 <input type="button" value="Enter"/> |



入力後は を選択してデータを保存します。

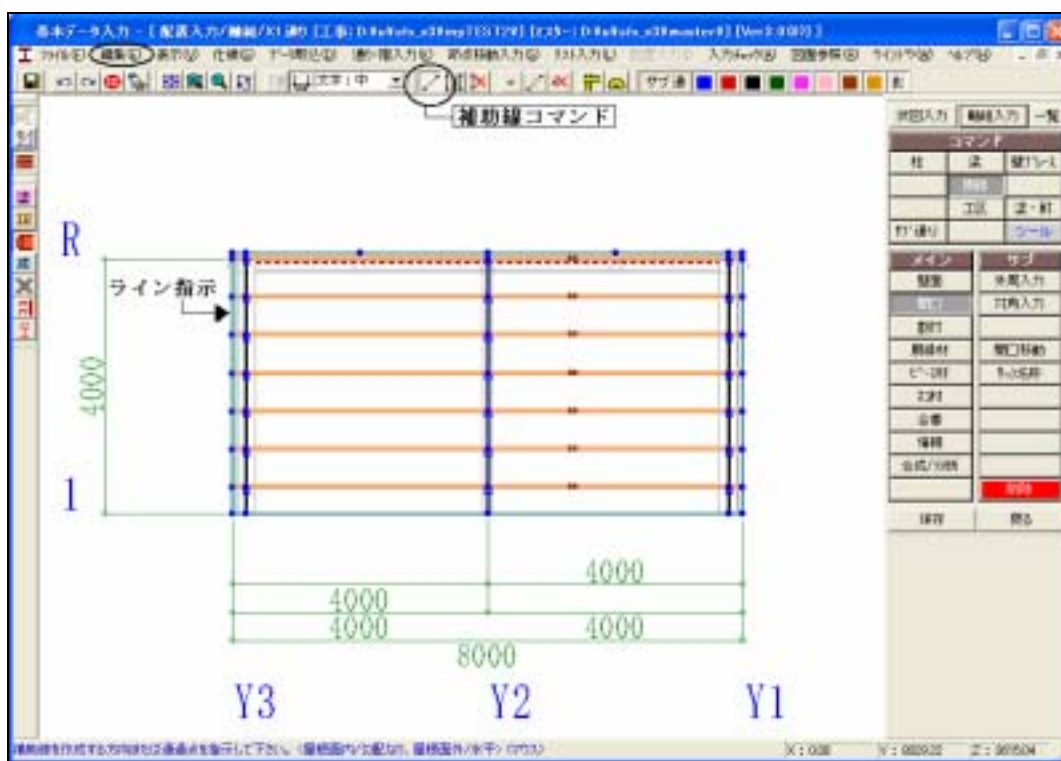
この入力を、Y1、Y3、X4 通りについても行って下さい。

7. 開口を作成します。

軸組入力 **X主通り (X1)** の図面を表示します。 **胴縁** を選択します。

. 開口の指定を作るためのガイドとなる補助線 (縦の線) を Y3 から Y1 まで引きます。

メニューバーの **編集** **補助線** **平行補助線** または補助線コマンドを選択します。

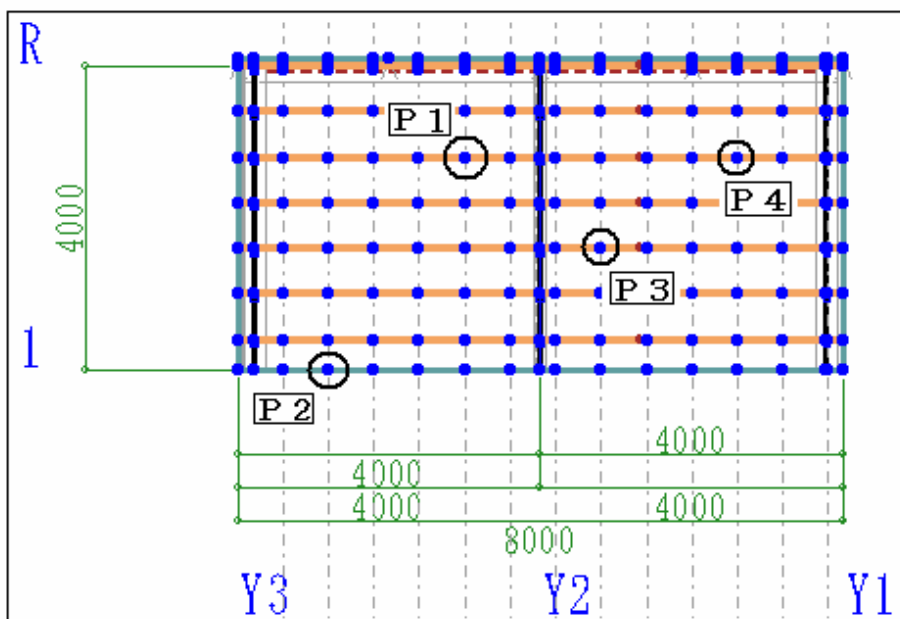


| | | |
|---|--|---|
| 1 | 基準となる線分を指示して下さい (マウス) | Y3 通りを指示。 |
| 2 | 補助線を作成する方向、または通過点を指示して下さい。 < 屋根面内 / 勾配なり, 屋根面外 / 水平 > (マウス) | Y1 通りの方向を指示。 |
| 3 | 距離を入力して下さい。(略可: 数値 (+ / 小数) 7桁 小数第2位まで有効) | 600 <input type="text" value="Enter"/> |
| 4 | 距離を入力して下さい。(略可: 数値 (+ / 小数) 7桁 小数第2位まで有効) | <input type="text" value="Enter"/> (Y1 通りまで。) |

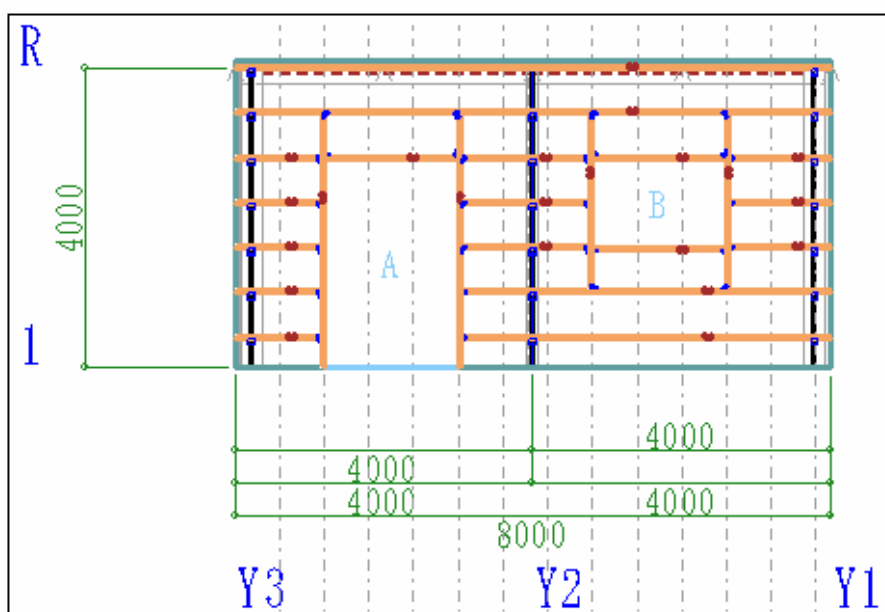
・補助線を使って開口を作成します。

(対角で開口を作成する場合)

| | | |
|---|---------------------------------------|--------------------------|
| 1 | 開口を配置する点を指示して下さい。 <開口面の内側指示> (マウス) | 1 点目は、補助線と胴縁との交点 P1 を指示。 |
| 2 | 対角点又は開口幅を入力して下さい。(マウス/キー) | 2 点目は、補助線と胴縁との交点 P2 を指示。 |
| 3 | 開口を配置する点を指示して下さい。 <開口面の内側指示> (マウス) | 1 点目は、補助線と胴縁との交点 P3 を指示。 |
| 4 | 対角点又は開口幅を入力して下さい。(マウス/キー) | 2 点目は、補助線と胴縁との交点 P4 を指示。 |



・ 選択して、開口に名称がつけます。開口を指示して A・B と入力します。



上図のように開口が作成しましたら、 を選択してデータを保存します。

以上で基本データの 입력は完了です。 またはウィンドウ右上の×で終了します。

【手順7】 図面参照

今入力した物件を 3D の図面で確認しましょう。

選択画面から **部品展開** を選択して下さい。

「部品・製品マーク振直しで部品展開を行います」 **OK** を選択して下さい。

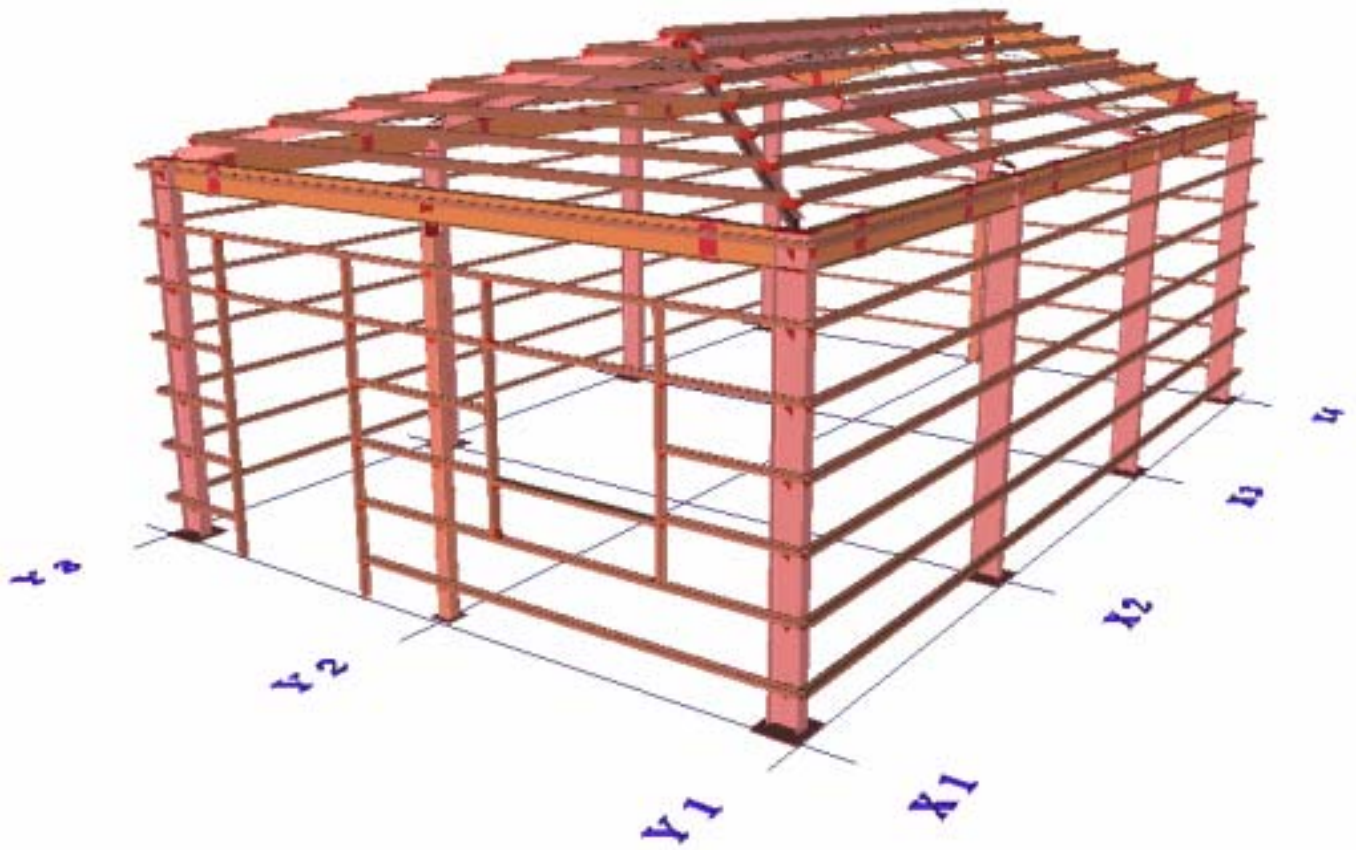
エラーが発生すると、エラーリストが表示します。

処理中断 **配置入力** で図面の赤色で表示している部分がエラー箇所です。

正常に終了したら、選択画面から **3D 表示** を選択して下さい。

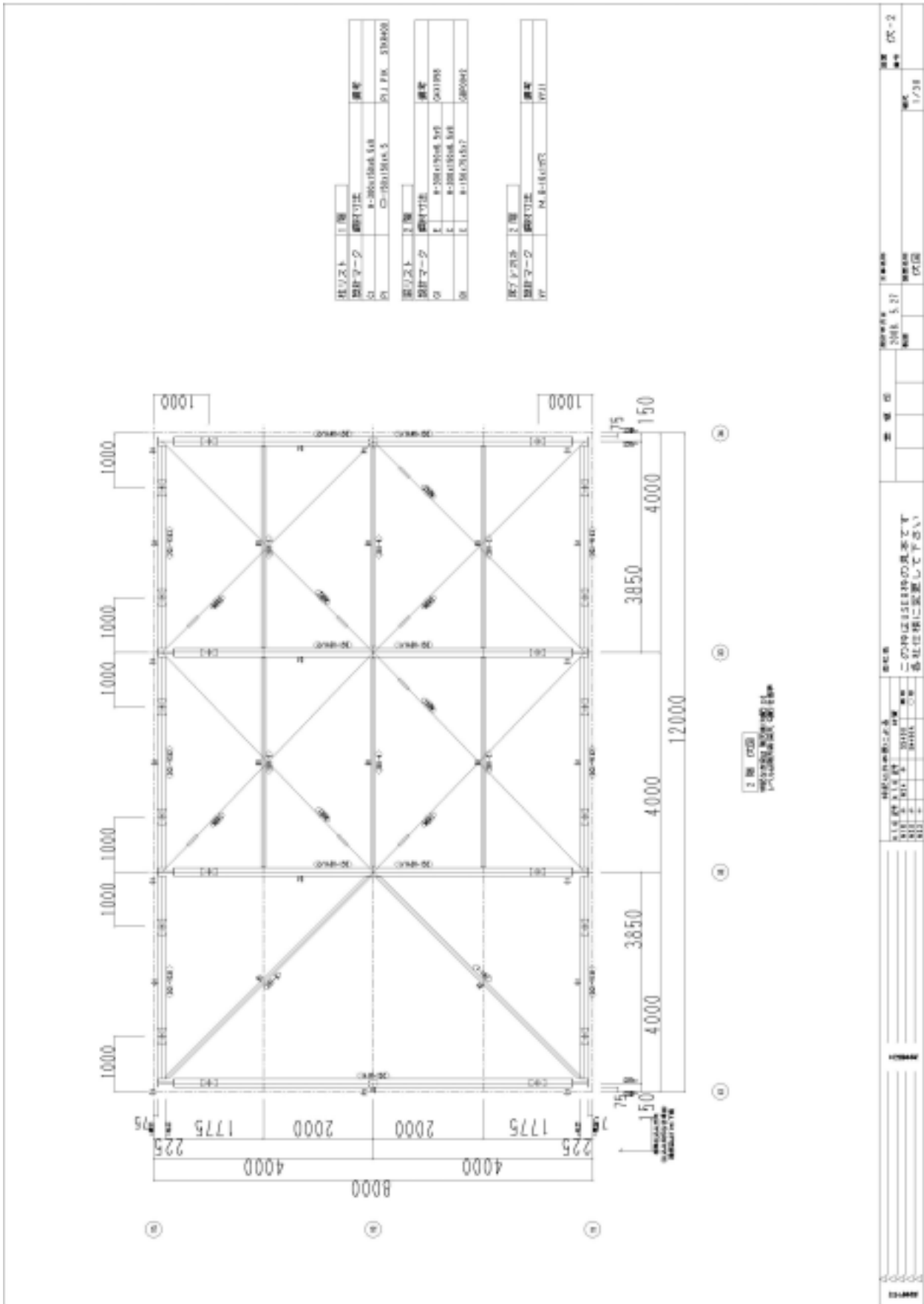
「イメージを表示するためには面生成が必要です」 **OK** を選択して下さい。

3D ビューワ視点入力画面が表示されます。以下のような物件の 3D 図が表示されたら完了です。

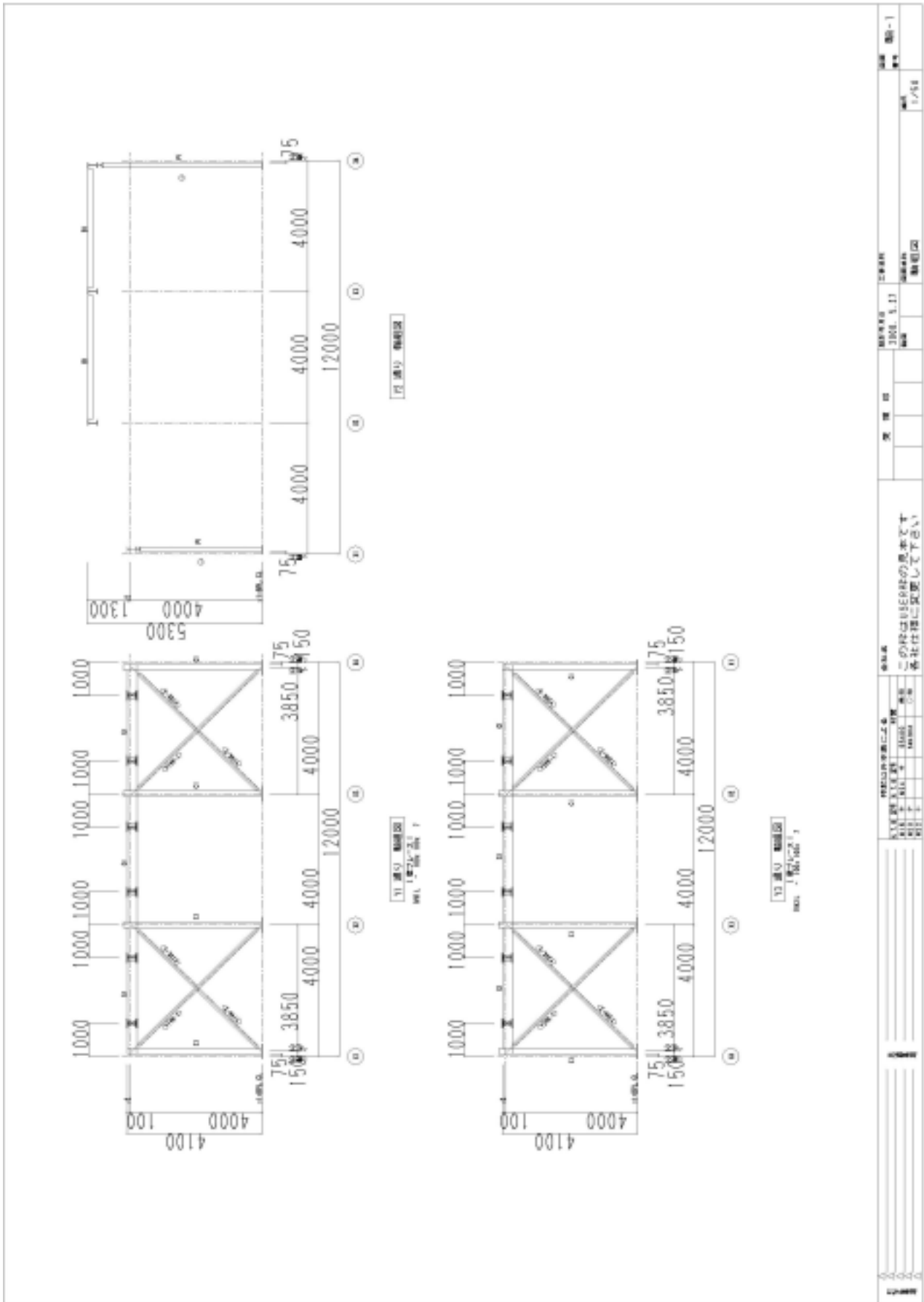


以上で応用編 は終了です。

本図面は寸法表示を編集しています。

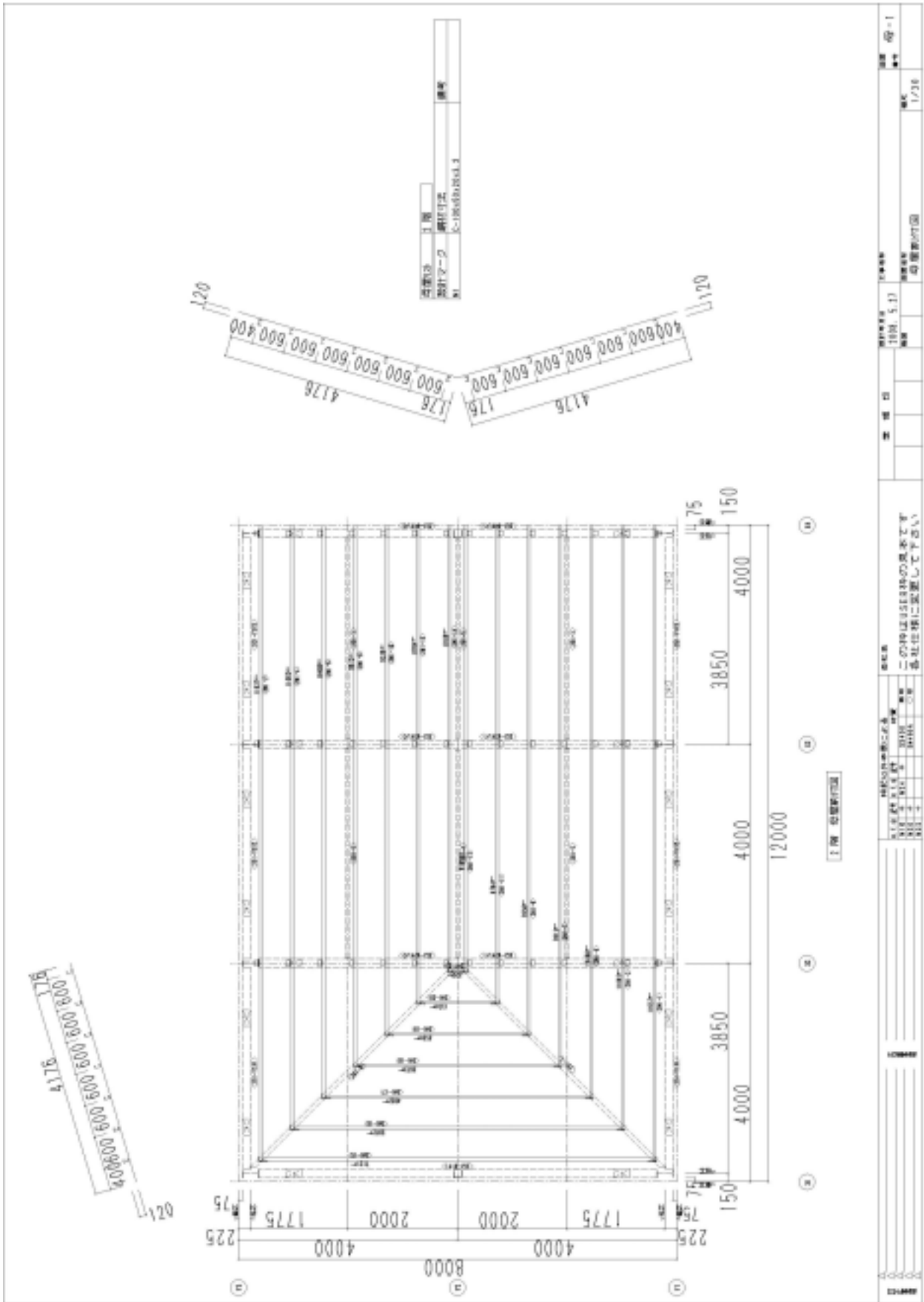


本図面は寸法表示を編集しています。



| | |
|------|-------------------------------|
| 図名 | 図-1 |
| 図番 | 1/58 |
| 発行日 | 2003.5.13 |
| 作成者 | 藤田 誠 |
| 承認者 | |
| 図面内容 | この図はUSERの図面です 各社は様に変更して下さい |
| 作成者 | |
| 承認者 | |
| 図面内容 | |
| 図名 | |
| 図番 | |
| 発行日 | |
| 作成者 | |
| 承認者 | |
| 図面内容 | |

本図面は寸法表示を編集しています。



本図面は寸法表示を編集しています。

